

川本町



交通ルールを学ぶ交通安全教室

挨拶は何のためにするか、どんなことにつながるかを生徒同士で話し合う場を設けた。以前に比べ生徒同士の挨拶が増え、お互いに気持ちを伝えやすい雰囲気生まれてきている。

あいさつ・マナー

中学校

地域だけでなく、高校、大学とも連携し取り組んだことで、地域の会合等で、挨拶のよさをほめてもらえるようになった。

職場体験や地域ボランティア活動できちんとした対応ができるようになった。

全校茶道により、もてなしの心が育ってきており、日常の言動の中に見られる。

挨拶運動に関しては、小中連携、生徒会活動という言葉が多くありました。中には特徴的なものとして、児童会と生徒会の交流を持つというものがありました。また中学校らしく部活動の活用という例も多くありました。

職場体験は、やはりふるまい向上の大きなきっかけとなるようです。それに合わせたマナーやコミュニケーションスキルの研修などの取組も多くあります。

中学生が出身小学校で「小中交流挨拶運動」をし、地域でも挨拶をする生徒が増え、地域からも挨拶をよくすると聞いている。

生活習慣など

挨拶、返事、履き物そろえ、時間を守る、掃除を一生懸命する、という5つの実践に取り組むことで、基本的な生活習慣が身についてきた。生活にけじめをつけることができるようになってきており、メリハリのある学校生活が送れている。雰囲気のよい学校・学級となり、不登校傾向を示していた生徒も毎日登校できるようになった。



吉賀町

学校周辺の清掃活動

中学校

生活習慣など

よりよい生活習慣を身につけるための目標や活動を各委員会や生徒自身が考えるようになった。

進んで読書をする生徒が増えてきたことで、落ち着いて生活できるようになってきた。

弁当の日や、親子で朝ごはんづくりなどの取組、食に関する体験・学習などから、感謝の気持ちとともに食に対する意識が高まった。

「ふるまい」という言葉を生徒が理解し、日常生活の中で心がけるようになった。これまでも取り組んできた週番活動の意義や役割がよりわかりやすくなった。

知夫村



6泊7日のふるまい向上合宿

生活習慣や生活・学習の環境を整えるということはやはりとても大切なことなのです。中学生になると、生徒会による自主的な取組が多いのですが、生徒自身が理解する、納得するという手立ても必要なことなのです。

豊かな心

3年生が放課後に保育所へ出かけ読み聞かせなどの保育サポートを行っている。幼児と関わりながら実践的に「ふるまい」を体験することができる。

大きな行事を生徒中心で行うことで、相手のことを考えたり、周囲に気を配り協力したりする心や態度が育っている。

ボランティアや学校外の人との関わりのある体験活動をするには、その活動自体から学ぶことと、それに関わる人から学ぶことも多くあるようです。また、挨拶や基本的な生活習慣と非常に関連が深いようです。

学習支援ボランティアさんとのかかわりから、感謝する気持ちが育っている。

ボランティア活動の参加など、地域の一員としての自覚が高まりつつある。地域のボランティア活動や行事への参加も増えている。

地域の乳幼児学級への参加、乳幼児の沐浴体験を通して思いやりの心が育ってきている。

明るい挨拶と朝マラソンで、気持ちのよい一日がスタートし、学習意欲、挑戦意欲なども高まっている。

保護者や地域

生徒の頑張りなどを地域へ知らせることで、学校への関心が高まり協力的な雰囲気になっている。

弁当の日に家族として子どもにかかわることで、子どもたちの生活習慣に対する意識の深まりが見られる。

地域講師との連携などから、地域と学校の相互理解が深まり、ともに生徒を育てようとする心構えができてきた。

ノーメディア週間の取組で、生活リズムや家庭学習、食育について考える家庭が増えた。

夏休みの手伝いを課題にしたことで、親子の触れ合いから、生活習慣の改善につながった。

ノーメディア運動、食育の日などの取組で生活習慣に目を向ける家庭が増え、家庭内のコミュニケーションの機会が増えている。

地域の方が、学校へ苦情を言うだけでなく、下校指導などを一緒にしていただけるようになった。

家庭も地域がそれぞれに取り組むのではなく、学校と一緒に取り組むということは成果を上げるための一つのポイントのようです。また、生徒の様子をよく知ってもらうことも大切なことのように。



浜田市

文化祭でお茶をふるまう中学生